

一般社団法人室内環境学会 2024 年度 第 2 回臨時理事会議事録

日 時：2024 年 6 月 17 日（月）16:00～19:00

場 所：事務局会議室／オンライン会議室

出席者

理事：東賢一（理事長）、中島大介、鍵直樹、橋本一浩（事務局長）、小栗朋子（会計）、高木麻衣、
三宅祐一、森田洋、柳宇、篠原直秀、萬羽郁子、徳村雅弘、嶋崎典子
事務局：二科妃里、色摩操
監事：湯懷鵬、齊藤智
オブザーバー：佐藤博

本理事会は総理事数 13 名のうち過半数である 13 名が出席していることから、定款第 34 条により成立した。また同第 33 条により、本理事会の議長は東理事長が務めた。

議事次第：

1. 学会誌の電子化に関する検討

森田出版委員長より、将来構想 WG より依頼のあった学会誌の電子化について、出版委員会で検討を行ったと報告された。経費は 1 号あたり 40 万～60 万円程度の削減が可能であること、既に J-stage と学会 HP にて全ての査読論文とその他の記事が閲覧可能な状態であることから、出版委員会の総意として学会誌の電子化については肯定的な見解が示された。課題として、電子化されたシステムの管理体制の構築、広告紙面への配慮などが挙げられた。これに対し、出席理事からは会員の意見も把握した方が良いとの意見が出され、全会員を対象としたアンケートを実施することになった。アンケートは広報委員会と出版委員会が連携して準備する。

2. 各委員会報告

事業委員会：三宅委員長より、2024 年学術大会における創立 30 周年記念講演会の準備状況について報告があった。寄付を募ったところ、現在 8 社から申し込みがあり、開催のための資金は十分に確保できたとのこと。記念冊子を PDF 形式で作成する予定とされたが、これに対し東理事長から学会誌への掲載が提案され検討することとなった。

広報委員会：萬羽委員長より、ニューズレターに新たに「ニューズレター広告」を設け、有料で広告を募集するとの報告があった。また、学会 HP 運営の外部委託を検討しているとのことで、経費の試算が示され更新に大きな費用がかかることが課題と説明された。また、学術大会 HP の運営社（アトラス社）が提供している学会サイト構築コンテンツについても紹介があった。会員管理サービスが利用できるため、年会費の管理等にメリットがあるとのこと。

学術委員会：高木委員長より、2025 年度室内環境学会研究助成金の準備状況について説明があった。2025 年 7 月頃には助成対象研究を決定する予定。

表彰委員会：篠原委員長より、新たに設立された研究奨励賞に「創立 30 周年記念柳沢賞」の副賞をつけると報告があった。新設の賞については、今後ニューズレターにて推薦を募る。また、学会賞と学術賞については学術大会にて受賞講演を依頼する。

4. 2024年室内環境学会学術大会の準備状況

鍵副理事長より、2024年学術大会の準備状況が説明された。例年を踏襲した内容で準備を進めているが、大きな変更点として、展示・広告の費用を若干値上げすることのこと。

5. その他

- ・学生会員の会費の改定について検討している（鍵副理事長）
- ・能登半島地震WGにて仮設住宅の調査を行う予定である（篠原WG代表）
- ・事務局より2024年4月8日～2024年5月14日の入会承認者4名（正会員3名、学生会員1名）のリストが報告された。
- ・会員動向として、2024年6月14日時点で正会員367名、法人会員57社（団体）、学生会員61名、シニア会員8名であると報告された。

以上

署名欄

東 賢一

印

中島大介

印

鍵 直樹

印

橋本一浩

印

小栗朋子

印

高木麻衣

印

三宅祐一

印

森田 洋

印

柳 宇

印

篠原直秀

印

萬羽郁子

印

徳村雅弘

印

嶋崎典子

印